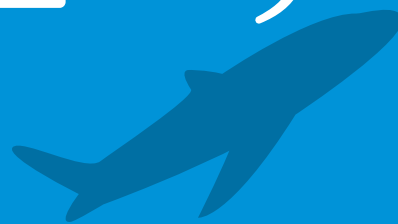


海外へのアプローチ

vol.1



10/23 (木) 15:30~17:00

海外の芸大生との交流から見たこと フェルトシュテルケインターナショナル 2014 報告会

インタビューアー：小山田徹 (彫刻専攻教授)

トークゲスト：フェルトシュテルケ参加学生：

安東陸郎、鈴木孝平、橋爪皓佐、前田菜月、町田藻映子

司会：青嶋絢 (インターナショナル・コーディネーター)

京都市立芸術大学では、「海外へのアプローチ」と題し、留学ガイダンスや英語を使った書類作成のためのセミナーなどを開催してきました。今回は、国際学生交流レジデンス・プロジェクトとして注目を集めた「フェルトシュテルケインターナショナル 2014」の報告会を開催いたします。小山田徹教授をインタビューアーに迎え、本学から参加した5名の学生とのラウンドトーク形式で「海外の芸大生との交流から見てきたこと」をテーマに、プログラムでの体験や、フィードバックをディスカッションします。

Feldstärke International (フェルトシュテルケ・インターナショナル) 2014 とは

日・独・仏3カ国の芸術系大学から選抜された国籍や専門分野の異なる30名の芸大生が3カ国での超短期レジデンス滞在を経験しながら国際交流を深める先駆的プログラム。

学生は、各都市に1週間ずつ滞在し、地域特有の問題等をテーマにしながら、共同制作および対話を通して、異文化、異ジャンルの芸術活動の融合、将来的なネットワークの構築を図った。

9月中旬に京都芸術センターで最終の滞在制作、プレゼンテーションを行い、約3週間に渡るプログラムを終了した。

会場：新研究棟2階 大会議室

対象：在学生 (美術学部・美術研究科)

定員：無し